

(1) 実施計画の細目

(a) 研究調査の目的・目標

オープンソース OS として充実してきたが、一方肥大化してきた Linux の利点を残し、FA 用途に何処まで最小化できるかが、ポイントになる。この場合、前記の機器に加えメモリが大きな要素となる。最近のパソコンのメモリは標準的に 32 メガバイトになりつつあるが、最終 ROM 化を視野に入れておくと、16 メガバイトでの動作の可能性も追求しておく必要がある。現実問題としてそれ以下の容量のパソコンは無視できるものと思われる。

[システム構成]

CPU はペンティアム以上 (演算チップ有り)
メモリ (32 メガバイト)
入力装置 (キーボード、マウス)
カラー表示器 (800 × 600)
フロッピーディスク (FD)

[ファイルシステム]

ext2
proc
msdos

[特記事項]

Paging 機能無しで実行可能か?
メモリは 16 メガバイトで使用可能か?

これは、通常パソコンとしての最小限のシステム構成である。メモリ Paging を無しに実行可能であるならば、メモリ内で全ての作業ができることになり、ハードディスクレスの実現が可能であることを意味する。

(b) 実施項目及び実施内容

1) 調査項目

技術調査 イ) 各種ドライバの削除
 ロ) ファイルシステムの最小化
 ハ) Paging 機能の削除
市場調査 イ) ROM 動作可能な IBM PC コンパチブルマシンの調査
 ロ) Linux における GUI ツールの動向
 ハ) Linux における Smalltalk の動向

2) 試験研究項目

技術開発研究 イ)
 ロ)
 ハ)
実験研究 イ)
 ロ)
 ハ)

(2) 実施計画日程

平成 10 年度実施計画日程表

研究項目	5月	6月	7月	8月
(調査) 技術調査				
1) 各種ドライバの削除				▶
2) ファイルシステムの最小化				▶
3) Paging 機能の削除				▶
2 市場調査				
1) ROM動作可能なIBM PC コンパチブルマシンの調査				▶
2) Linux におけるGUIツールの動向				▶
3) Linux におけるSmalltalkの動向				▶
(試験研究) 1 技術開発研究				
1) 各種ドライバの削除				▶
2) ファイルシステムの最小化				▶
3) Paging 機能の削除				▶
2 実験研究				
1)				
2)				
3)				
まとめ				▶
報告書作成				▶

(1) 研究員氏名及び人員 / : 責任者、 : 担当者

研究項目別担当者		技術調査	市場調査	技術開発研究	実験研究	まとめ	報告書作成
研究員氏名	役職						
渡辺福德	代表取締役						
今次 豊	システム開発部						
中崎康司	システム開発部						